

令和 8 年 8 月 3 1 日

全ての附属学校体育館に空調設備を整備しました**— 熱中症対策と教育環境の向上、災害時の避難所機能を強化 —****【概要】**

広島大学では、附属学校における熱中症対策および教育環境の向上を図るため、2026（令和 8）年 8 月に全ての附属学校体育館に空調設備を整備しました（別紙 1 参照）。総工費は約 3.7 億円です。

近年の厳しい暑さの中、体育の授業や学校行事、部活動などで使用する体育館における暑熱対策は、児童・生徒が安全に学校生活を送る上で重要性を増しています。今回の整備により、気温の高い時期にも体育館をより安全かつ快適に利用できる教育環境を整えます。

また、附属学校の体育館は、災害時には地域住民の避難場所として活用されることも想定されています。空調設備を整備することで、災害時、とりわけ夏季における避難者の健康確保など、地域の防災拠点としての機能向上も期待されます。

【全国の国立大学附属学校における整備状況】

文部科学省の調査によると、2026（令和 8）年 5 月 1 日現在、国立大学附属学校の体育館等における空調設備の設置率は、小中学校 32.8%、高等学校 26.0%となっています。

本学における全ての附属学校体育館への空調設備整備は、児童・生徒の安全・健康に配慮するとともに、教育環境のさらなる向上につながるものです。

【参考】

学校種	体育館等保有室数	空調設置済室数	設置率
小中学校	232	76	32.8%
（うち小学校）	84	26	31.0%
（うち中学校）	148	50	33.8%
高等学校	50	13	26.0%

出典：文部科学省「国立大学法人の附属学校における空調（冷房）設備設置状況調査結果（全国）」（2026 年 5 月 1 日現在）

【三原小・中学校では体育館の床も改修】

三原小・中学校の体育館では、空調設備の整備とあわせて床改修を実施し、安全性・快適性の両面から教育環境を向上させました。

床には、国際的なスポーツ大会でも使用されているスポーツ床材「タラフレックス」を採用。木製フローリングのささくれによるけがや、冬季の底冷えの低減が期待されます。

広島大学では、今回整備した空調設備を活用することで、附属学校の児童・生徒の安全を確保し、安心して学び、活動できる教育環境の充実を図るとともに、災害時における地域住民の避難環境の向上にも貢献してまいります。

【お問い合わせ先】

財務・総務室
施設部施設整備グループ 岩崎
TEL:082-424-6116

教育室
附属学校支援グループ 森根
TEL:082-424-6961

広島大学附属学校体育館 空調設備整備状況確認表

学校名	体育館面積(m ²)	空調設備設置台数(台)	空調能力(kW等)	整備時期
附属小学校	483	室外機2台 室内機8台	112kW	令和4年度に整備
附属中・高等学校	アリーナ:1140 武道場:206	室外機4台 室内機34台	292.4kW	今回整備
附属東雲小学校	570	室外機2台 室内機14台	99.4kW	今回整備
附属東雲中学校	558	室外機2台 室内機13台	92.3kW	今回整備
附属三原小学校	543	室外機2台 室内機8台	112kW	今回整備
附属三原中学校	543	室外機2台 室内機8台	112kW	今回整備
附属福山中・高等学校	アリーナ:1120 第一格技場:184 第二格技場:223 ダンスレッスン室:59 保健教室:85	室外機6台 室内機34台	375.2kW (ダンスレッスン室および保健教室は除く)	今回整備